

シリーズ ⑮

# こんにちは! お久しぶりです.....



株式会社 すがわら葬儀社  
代表取締役 菅原 裕典 氏

(ききて) (株)サクセス・アンリミテッド仙台  
チーフモチベーション 倉林 大作

倉林：今日はよろしくお願ひいたします。

この度は、創立30周年記念事業の式典委員長として、記念講演会の準備では大変にお世話になりました。お陰様で委員会も大いに盛り上がり、当日が本当に楽しかったですね。

菅原：こちらこそ大役をいただき光栄に思っております。特に記念講演会への出席の呼びかけには、式典委員の方々のみならず、実行委員会全体の方々のご協力をいただいたお陰で順調に進みました。記念講演会には多くの方々にご来場いただけそうなので、あとは「来て、本当に良かった」と感動していただけるよう、さらに準備をきっちりとして進めていきたいと思ひます。

倉林：よろしくお願ひ致します。今回の委員会を通じて、菅原社長の会の進め方、物事を決めていくことなど大変に勉強になりました。ありがとうございます。式典委員の皆様も「流石だね」という声を沢山いただきました。

ご一緒させていただき、会社がどんどんご発展されている理由がよくわかりました。

菅原社長は、普段はどんなことを心がけていらっしゃるのでしょうか。

菅原：個人としても、会社としても、社員に対しても創業以来ずっと言い続け、実践していることが2つあります。

一つが人との出逢ひ、お付き合いを大切にすることです。場面があればどんどん参加するようにしています。しかし、それがすぎてしまうと自分の考え方がブレてしまいますし、足りないという狭い範囲だけで考えてしまいますので、その調和、バランス感覚は大事にしています。

もう一つは、「NO」と言わないことです。お客様からいろんな頼まれごとをいただきますが、それについて仕組みがない、できないと言わずに、できることを最大限にご提供させていただくということです。その中に人としても会社としても成長があると思ひますし、何よりお客様が何を求めているのかが大変勉強になります。ですから授業料をお支払いしなければいけないお客様からの頼まれごとは重要だと思ひます。

倉林：具体的ですね。菅原社長には10年前にSMIをご採用いただいたからのご縁ですが、勉強されてみていかがでしょうか。

菅原：SMIプログラムでは物事の考え方、感覚を磨かせていただきました。そして仙台SMIクラブで同じ考え方を学んだ人々が集い、ご一緒させていただくことで、それがどう具体的に実践されているかを学ぶことができ、論理と実践が本当によく理解でき勉強になっています。仙台SMIクラブには仙台を代表するような経営者の方々が大勢いらっしゃる、今まで見たり、聴いたりすることで外側のことは理解しておりましたが、実際にその経営者の方々と会話をすることで「なぜ成長していくのか」その裏づけが理解でき、深いところ、原理原則が理解できるようになりました。SMIをはじめた頃の目標は、一人でも多くの方々に

葬儀サービスをご提供していくために、仙台市内の全区に葬儀会館を出すということでしたが、それは達成することができ、さらに進んでおります。

SMIを活用した社内塾も8期まで進み、会社の大きな原動力となっています。

倉林：素晴らしいですね。これからの未来についてはどんなことをお考えになられていらっしゃいますか。

菅原：物を提供する葬儀屋ではなく、故人にふさわしいスタイル、心をご提供する葬儀サービスをもっと充実させていき、故人にふさわしいエンディング、葬儀を演出、プロデュースしていきたいと思ひます。

残された方が故人の方がいて今の自分がいるという感謝の心、気持ちを故人にお伝えすることを形にしていける「生命(いのち)の物語」応援会社というコンセプトで21年前に創業し、今日を迎えさせていただきました。そして泉中央に初めて葬儀会館を建ててから15年が経過し、お陰様で全国から多くの同業の方々が見学に来ていただける会社になりましたが、常に学ぶ気持ち、本当にこれで良いのかという疑問符をもって生きていきたいと思ひます。1回成功してもそれは決して永遠のものではありません。過去を活用しながら新しい結果を出していくことが必要です。今、大きな節目を迎え、改革の時ととらえ毎日を過ごしています。そのために、住宅展示場の見学など業界だけにとらわれず、様々な角度から物事を観るようになり、感性を磨き、情報や世の中のニーズを的確にとらえ、葬儀という分野で益々お客様に喜んでいただけるサービスをご提供していきたいと思ひます。

倉林：進化し続けていくことが重要ですね。最後に仙台SMIクラブに望むことを一つお願ひいたします。

菅原：創立30周年おめでとうでございます。30年間勉強会が続いているということは本当に素晴らしいこと、すごいことだと思ひます。仙台を代表するような多くの経営者を輩出し、果たして来た役割は大変に大きいものだと思ひます。ですから、これからもっと社会に対して訴えても良い時期ではないかと思ひます。これからも素晴らしい情報、チャンスをご提供いただき、東北、仙台という社会に貢献できるような会としてこれからも益々繁栄していただきたいと思ひます。私もご協力させていただきます。

倉林：ありがとうございます。仙台を代表する経営者の方々が学んでいる菅原会の方々の志を次の世代の方々に引き継いでいくために菅原会 Jr (仮称) を設立することになりましたが、その発起人として菅原社長にはこれから我々若手を引っばっていただきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。今日はありがとうございました。

菅原：こちらこそありがとうございました。